

甲佐町オレンジ通信

令和 5 年 10 月 甲佐町地域包括支援センター

第 5 号(通巻第 85 号)

グローバルになる甲佐町で、認知症
ケアを考えよう



コスモスが揺れています。これから急に冷え込んできます。カーディガンなどの上着を出すなどの衣替えはお済みですか？

さて、世の中では、介護人材が不足しているという話はご存じでしょうか？

熊本県でも、大きく産業構造が変わる中、労働者人口が減り、中山間地域の中では、住む人が減少している地域も出てきています。

先日、パーキンソン病の知人が、ふとした拍子に腰椎を圧迫骨折し、入院しました。1ヶ月の入院と安静期間に家族はとても心配しましたが、医療・看護・リハビリの連携で状態が改善し、無事自宅に帰って生活することとなりました。

入院中、大変だったのは、食事の時に、腰椎圧迫骨折のため座る姿勢ができないので、寝たまま水分を取ろうとする

とうまく喉を通らず、むせる様な感じになり、ゼリー状のものを少しずつ取るとよかったなと言っていました。

入院中は、電話やメールで家族と連絡をとっていました。

また、素敵な話し相手は、隣のおじいさんと身の回りの掃除や世話をしてくれたミャンマーの職員の方達で、「とても親切で、楽しかったし、勉強になった。」と言っていました。

彼らの村では、今でも紛争が絶えず、知人が亡くなったという話を聞きました。日本は平和で、特に甲佐町は優しい人が多い牧歌的な町です。日本の介護や農業、工業を支えるためにこれからも多くの外国人労働者の方々がやってくると思います。特に外国の方の場合は、言葉や生活習慣が違います。相手のことを知らないと不安です。でも違うからこそ、私たちの知らない世界を教えてください。日本に来る介護職の皆さんは、必死に日本語を覚えてやってきます。母国には支えるべき家族が待っていて、日本で介護を学び、母国の高齢者も支えるリーダーとなるべき人たちです。中には、そのまま日本にご縁ができる方もいるでしょう。

どうか、皆様、温かい目で見守ってあげてください。

甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。



お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
(甲佐町役場 福祉課)
TEL 234-1114